

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】宮津市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
42	2010.4.30			京都府	宮津市	19,942	169.32
構想の要約		宮津市は、地域資源活用型の「自立循環型経済社会」を目指し、市民協働、全員参加の下、竹や木質バイオマスのエネルギー化、廃食用油の燃料化のほか、生ごみ・し尿・浄化槽汚泥をメタン発酵し、バイオガス発電と液肥を活用した農業を实践するとともに、観光産業と連携して地域産業の再生を図る。					
構想に盛り込まれた事業		1.メタン発酵システム 2.廃食用油利用システム 3.竹資源等木質バイオマス利用システム 4.海のバイオマス利用システム					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝	○		
水産加工残さ	○	竹材	○		
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化		直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造	○	ガス化	○
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

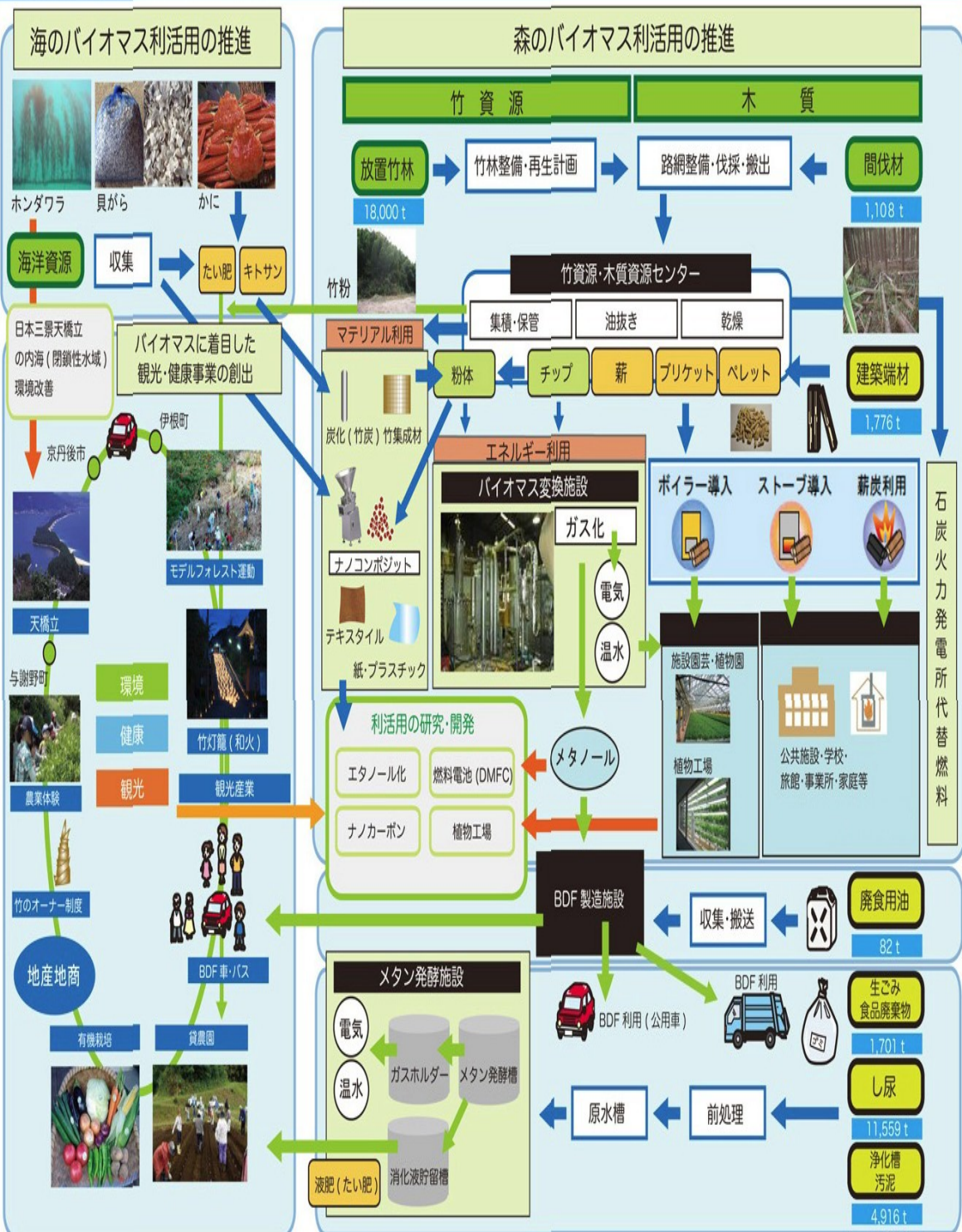
バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

		賦存量		利活用目標			
		湿潤量 (t/年)	炭素換算 (t/年)	湿潤量 (t/年)	炭素換算 (t/年)	今後の変換・処理方法	利用率 (%)
廃棄物系バイオマス							
生活系	廃食用油 (学校・保育園)	3	2	3	2	燃料(BDF)化	100
	廃食用油(家庭)	21	15	18	13		87
	廃食用油(事業所)	58	41	41	29		71
	生ごみ (家庭・事業所)	1,701	75	1,701	75	メタン発酵、液肥(たい肥)、電力・熱利用	100
	し尿	11,559	896	11,559	896		100
	浄化槽汚泥	4,916	381	4,916	381		100
	下水道汚泥	1,086	104	1,086	104	焼成(セメント工場)	100
農業系	乳用牛 ふん尿	118	7	94	6	たい肥化、農地還元	86
	肉用牛 ふん尿	273	16	218	13		81
	採卵鶏 ふん尿	295	18	295	18		100
	果樹剪定枝	107	24	86	19	燃料化	79
林業系	製材残材	448	100	448	100	敷料、製紙原料	100
	建築端材	1,776	782	1,421	626	燃料化	80
水産系	かにがら	400	18	200	9	たい肥化、テキスタイル、健康食品	50
廃棄物系バイオマス計			2,479		2,291		92
未利用バイオマス							
農業系	稲わら	2,203	631	220	63	農業利用	10
	もみがら	523	150	52	15		10
林業系	間伐材	1,108	241	332	72	集成材(ベニア板)原料、 ナノ複合素材、燃料(ブリケット、ペレット、チップ、薪)	30
	林地残材	27	6	5	1	燃料化	17
	竹	18,000	3,214	7,200	1,286	ガス化発電、燃料化(メタノール、チップ等)、たい肥化、バイオマスプラスチック、内装、外装、家具、竹炭・テキスタイル、和紙、工芸品、竹箸	40
未利用バイオマス計			4,242		1,437		34

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

宮津市バイオマスタウン構想 イメージ図



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)